

皆さんがお家にお祀りする「天照皇大神宮」と記されたお神札は「神宮大麻」とよばれる伊勢の神宮のお神札です。

神宮大麻にお参りすることは伊勢の神宮にお参りすることと同じ意味合いになります。

そう考えると遠い伊勢の地も身近に感じるのではないのでしょうか？

神宮大麻の大きさや種類

- 神宮大麻（じんぐうたいま） 24.5×6.8cm
  - 神宮中大麻（じんぐうちゅうたいま） 25.0×7.5cm
  - 神宮大大麻（じんぐうだいたいま） 30.5×10.5cm
- ※お大きさによりご神徳が異なることはありません。

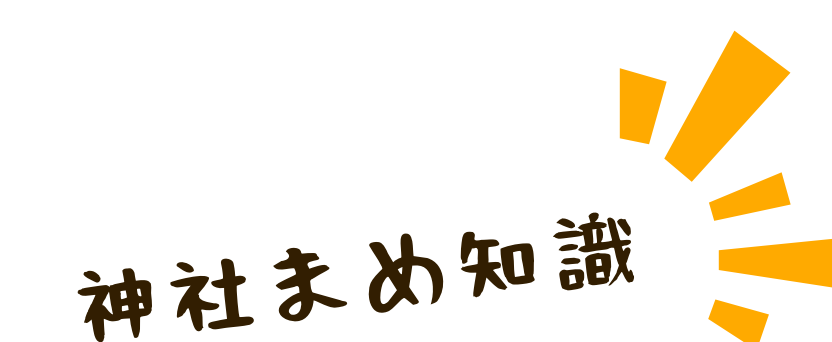
国の平安と全国の家庭の無事、国民一人ひとりの幸福を祈り、天照大神様のご神徳が全国の家庭に行き渡るよう祈念された靈験あらたかなお神札です。

伊勢の神宮には、太陽を司る天照大神様がお祀りされており、そのお力が込められたお神札が「神宮大麻」になります。



「神宮大麻」は名称は異なりますが、平安時代の頃から各家庭にお祀りされてきました。御師とよばれる伊勢の神宮の神職が全国各地を巡り、各家庭でお祓い・祈祷を行い、その印として御祓大麻を頒布していました。

その後、制度改革などもあり、御師・御祓大麻の制度は廃止になりましたが、明治天皇の思召しにより伊勢の神宮拝礼のために「神宮大麻」として各県の神職が頒布するようになりました。



師走の「師」は御師の「師」ともいわれています。12月に御師が走り回ってお祓い・祈祷をしてたためと考えられています。

## 伊勢の神宮は身近な存在？

伊勢の神宮は、正式には「神宮」とよびます。内宮外宮という言葉を目にしたことがあるかもしれませんが、この内宮（皇大神宮）に天照大神様がお祀りされています。また、外宮（豊受大神宮）には衣食住を司る豊受大神様がお祀りされています。

「神宮」は、この2社と他123社あわせて125社から成り立っています。

伊勢の神宮公式  
YouTubeチャンネル



神宮大麻が  
ご家庭にとどくまで



神道青年全国協議会HP

## 神宮大麻とは？

天照大神様だけでなく、自分が住む地域にも神社が存在し、その神社・神様が私たちを一番身近に見守ってくださいます。

この地域、土地の神社のことを「氏神神社」、神様を「氏神」といいます。

地域には、八幡宮や神明社など名前が異なる神社がたくさん存在しています。ですから、実際には「氏神神社」という神社は存在しません。

総称として地域、土地の神社のことを「氏神神社」とよんでいます。

この「氏神神社」にもお神札があります。「神宮大麻」とあわせて2体お祀りすることで各ご家庭を守護し幸せに導きます。

## 神宮大麻の歴史

昭和42年から現在まで富山県は頒布率が全国一位を誇っています。

これは皆さんが常日頃からお神札をお祀りし、ご家族の健康や幸せを願っていることの表れです。また、富山県は災害が非常に少ない地域です。これも皆さんの神様を敬う気持ちが自然の恵み豊かで住みやすい故郷に繋がっているのではないのでしょうか。



## 伊勢の神宮とは？

## 神宮だけじゃない！？

富山県は・・・